

平成 18 年 5 月 10 日（水曜日）
愛知県産業技術研究所 企画連携部
担当 石川、山崎
電話 0566-24-1841
愛知県産業労働部地域産業課技術振興
調整グループ
担当 来住南(きすな)、村上
電話 052-954-6340

愛知県産業技術研究所の研究成果を発表します

－ 第 3 1 回工業技術研究大会を開催 －

愛知県産業技術研究所では、研究開発の成果を企業の皆様に役立てていただくため、6月7日(水)、8日(木)の2日間にわたって、平成17年度に取り組んだ研究開発の成果を紹介する工業技術研究大会を開催します。

今回は、通常の研究発表に加え、企業と共同開発し商品化に結びついた事例を、商品開発に携わった企業の担当者の体験談なども織り込みながら紹介します。

また、(株)デンソー及びトヨタ自動車(株)から、自動車関連技術の最新の開発動向に関する特別講演を行っていただきます。

参加は無料です。多くの皆様のご来所をお待ちしています。

記

1 日 時

平成 18 年 6 月 7 日（水） 午後 0 時 30 分から午後 5 時まで
6 月 8 日（木） 午後 1 時から午後 5 時まで

2 場 所

愛知県技術開発交流センター
刈谷市一ツ木町西新割（愛知県産業技術研究所内）

3 内 容（詳細は別紙案内書をご参照ください）

(1) 特別講演 2 テーマ

○6月7日「デンソーにおけるロボットの活用」

株式会社デンソー 生産技術部 部長 小島史夫 氏

株式会社デンソーウェーブ 制御システム事業部技術企画室 室長 小山俊彦 氏

○6月8日「自動車と表面技術－環境・安全・カーエレクトロニクスを支える表面技術－」

トヨタ自動車株式会社 車両技術本部 HV材料技術部 パワーデバイス室
グループマネージャー 別所 毅(たけし) 氏

(2) 企業との共同開発事例紹介 5 テーマ

(3) 17 年度研究成果発表 27 テーマ

○口頭発表

- ・次世代電池材料に関する研究
- ・ナノテク・材料に関する研究
- ・環境対応材料に関する研究
- ・IT 技術に関する研究 など 14 テーマ

○ポスターセッション 14 テーマ

4 企業との共同開発事例紹介について

研究所では、企業と共同で多くの研究開発に取り組んでいます。今回、新たな試みとして、これらの共同開発の中から事業化や商品化に結びついた事例の紹介を行います。

研究所職員の技術解説に加え、企業で開発に携わった担当者を招いて、事業化までの苦労話や公的機関との協力のコツなど、実体験に基づく話題を提供します。また、共同開発品の展示も行います。

実例をお示しすることで、地域企業の方々に研究所を一層身近に感じていただき、新しい共同開発の掘り起こしにつながることを期待します。

【事例 1】

(事例名) 深穴加工を実現する油膜付き水滴用サイドホルダーの開発

(担当部) 工業技術部

(共同開発企業) エヌティツール (株)

【事例 2】

(事例名) 低コスト金型による新パルプモールド緩衝材の開発

(担当部) 工業技術部

(共同開発企業) (株) 名古屋モールド

【事例 3】

(事例名) 繊維加工処理技術の開発と機能性衣料への応用

(担当部) 尾張繊維技術センター

(共同開発企業) 日本メナード化粧品 (株) 総合研究所

【事例 4】

(事例名) 還元糖の定量装置の開発

(担当部) 食品工業技術センター

(共同開発企業) オザワ科学 (株)

【事例 5】

(事例名) セントレアで販売する新たな常滑焼の土産物の開発

(担当部) 常滑窯業技術センター

(共同開発企業) (有) シーム

5 参加方法

技術開発に取り組む企業を始め、どなたでも自由に聴講できます。

[参加申込書](#)により、郵送又は FAX で下記へお申し込みください。

6 申込み先及び問合せ先

愛知県産業技術研究所 企画連携部 〒448-0003 刈谷市一ツ木町西新割
電 話 : 0 5 6 6 (2 4) 1 8 4 1 F A X : 0 5 6 6 (2 2) 8 0 3 3